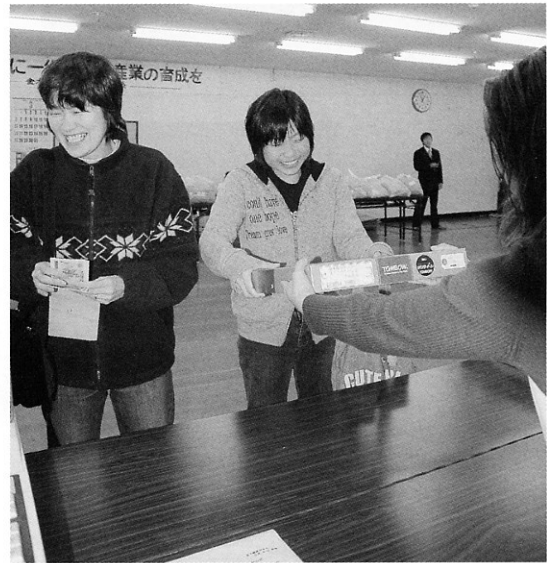


# 報かなぎ

平成17年3月号 No467



## 中学生活に「夢」と「希望」をもって



### 金木中・金木南中 制服の引渡し

3月6日、金木町商工会で行われた  
制服の引渡しの様子。



# 母校の思い出を刻み

## 川倉小学校百二十五年の歴史に幕



「さよなら 川倉」を歌う全児童

川倉小学校の閉校式が二月二十六日、同校体育館で行われ、全児童三十六名と保護者と関係者、地域住民ら約百五十名が母校の歴史を振り返り、別れを告げました。

式典で鳴海町長は「長い歴史と伝統を築き上げた先人の偉業や教育関係者と地域住民の皆さまに感謝したい。」と式辞を述べ、山中弘行教育委員長、歴代PTA会長などに感謝状の贈呈が行われました。木村謹文西北教育事務所長と中谷秀八町議会議長の来賓あいさつ後、黒滝洋子川倉小学校長は子どもたちに「人間味溢れる思いやりや自信と誇



歴代校長への感謝状

りを持って進んでほしい。」とあいさつを述べました。その後、全児童三十六名は、今までの思い出を『お別れのことば』で呼び掛けあい、また『さよなら川倉』の歌や高学年児童による津軽三味線の演奏を披露し、母校との別れを惜しんでいました。

保護者と出席者たちは、子どもたちの成長への感謝や母校の思い出を巡らせていました。

式の最後は、出席者全員で校歌斉唱し、百二十五年の長い歴史の幕を閉じました。

閉校式典に参加した中谷敬三さん（昭和四十五年度卒）は「時代の流れとはいえ、川



歴代PTA会長への感謝状

倉小学校が閉校になることは誠に残念です。この川倉小学校の歴史を私たちの誇りとしてほしい。」と寂しそうに語ってくれました。

式典終了後、川倉ふれあいセンターに会場を移して、『川倉小学校を語る会』が催され、参加した先生や地域の人たちが、子どもたちの学校生活や当時の学校を懐かしみ、それぞれの思い出話に華が咲いていました。

### 《閉校記念碑建立》

式典の前に、同校校門近くに、川倉小学校校歌とその歴史と旧校舎の写真が刻まれた閉校記念碑の除幕式が行われました。

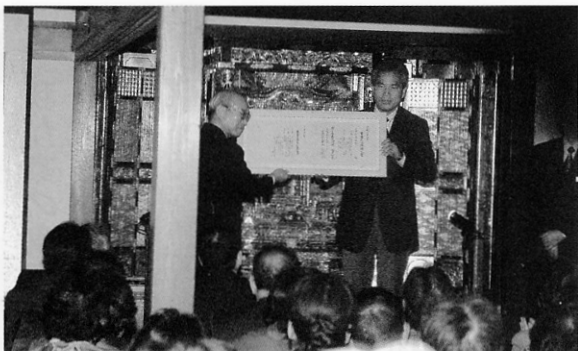


校歌が刻まれた記念碑



# 巧みな技術が駆使された 旧津島家住宅に 高い評価

指定書を受ける角田助役

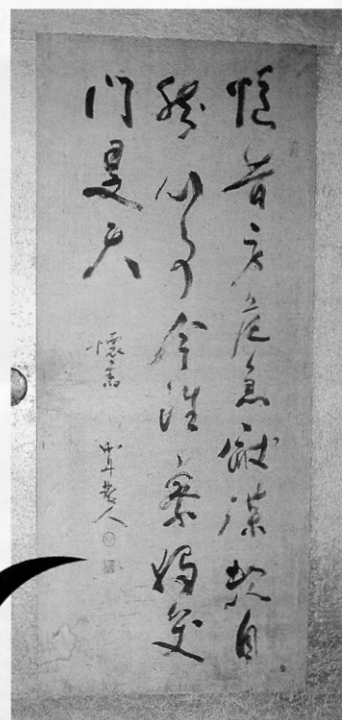


旧津島家住宅が国重要文化財に指定（平成十六年十二月十日）された記念として、二月二十日、太宰治記念館「斜陽館」大広間で、記念講演会・フォーラムが開催されました。

太宰ファンや関係者など約二百人が集まり、斜陽館二階和室の襖の一枚が、勝海舟の書であることを襖の落款などから裏付けた藤元徳造氏（五所川原市在住）による「勝海舟の書」の解説や木下巽教育長による「津島家のご仏壇と太宰」についての講演が行われました。

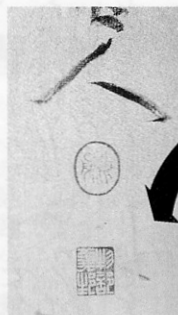
また、今回の国重要文化財の指定に携わった、大和智氏が旧津島家住宅「国重要文化財としての位置づけ」として、スライドを使いながら、旧津島家の建築住宅の特徴を事細かに説明をしていました。

参加者は、三氏の貴重なお



勝海舟の書

落款拡大



話に聞き入っていました。

また、当日の斜陽館は、講演会が始まる頃から無料開放となり、訪れた観光客や地元の人たちで、館内は賑わいを見せていました。



大和智氏による記念講演

## 親子のコミュニケーションの大切さを学ぶ!



者十五名は、親子のコミュニケーションの大切さを学んでいました。

学習会のテーマを「親子のコミュニケーションが楽しくできる裏ワザ!」と題して、親業訓練インストラクターの能正幸子氏（弘前市在住）が、日常に起きる身近な親子の問題を取りあげて、お話をしていました。

能正幸子氏は、「子どもの考え、行動する機会を親が抑えている。親の価値観で接し取つての会話ができていないか」などを出席者と対話しながら、子どもが出しているサインを読み取り理解し、共感して聞く方法、親の気持ちや意見を素直に伝える方法や親子の気持ち対立した時の解決方法など「聞くこと」「話すこと」「対立を解くこと」の親業に学ぶコミュニケーションの三本柱を力説する先生のお話に出席者は聞き入っていました。

また、小さなお子さまと一緒に出席するお母さんのために、二階の和室では、子育てメイトのメンバーが、お子さまを預かり、ブロック遊びや絵本の読み聞かせなど楽しく過ごしていました。

金木家庭教育推進協議会（会長 木下巽）主催による子育て学習会が三月四日、保健センターで開催され、出席

# 我が家の食卓に牛乳を

金木地区生活改善グループ  
連絡協議会（会長 中村リツエ）主催の第五回ふれあい  
フレッシュ講座が二月二十四  
日、中央公民館で行われまし  
た。

成田敏子氏（五所川原市在住）の指導で始まった牛乳・乳製品利用料理講習会は、事前に用意された食材で『ほうれん草のサンドイッチ』『豚肉と野菜の牛乳煮』『ちりめんじゃこのヨーグルトサラダ』の三品を、参加者三十名は、和やかな雰囲気の中で手際よく調理していました。

その後、完成した三品を昼食代わりに美味しく召し上がっていました。

午後からは、弁護士の花田勝彦氏による『自分の財産を考える』、知っておきたい相続の話の講演が行われ、身近な問題でもある財産の相続のお話にメモを執っていました。

牛乳・乳製品利用料理の中から『ほうれん草のサンドイッチ』を紹介します。この料理は、手軽で野菜の苦手なお子様にもお勧めです。



調理する参加者

## 【材料四人分】

- ・ほうれん草 二〇〇g
- ・食パン（八枚切り） 一斤
- ・バター、マスタード 少々
- ・クリームチーズ 六〇g
- ・スクィンミルク 大さじ一〜二
- ・ロースハム 四枚
- ・りんご 一個
- ・レモン汁 少々
- ・塩

## 【作り方】

- ①ほうれん草は茹でて、よく水気を絞ってざく切りにする。
- ②パンにバターとマスタードを薄く塗っておく。
- ③クリームチーズは、耐熱性のボールに入れ、電子レンジに四十秒か室温で柔らかくする。
- ④スクィンミルクを湯大きじ一で溶いて、塩少々を混ぜ、右記③のクリームチーズに加えて練り合わせる。
- ⑤パンに右記④とロースハムを挟み、濡れタオルで包み、まな板などで重石をして、具を落ち着かせる。
- ⑥右記⑤を半分に切る。くし形に切ったりんごにレモン汁をかけて添える。



第四十六回金木町民スキー大会と第四回北奥羽学童ジャンプ大会が二月十三日、嘉瀬スキー場で行われ、四種目に参加した百七十名の選手たちが一秒でも早くゴールを目指し、一メートルでも遠くに飛ぶため、精いっぱい競い合っていました。

大会成績は次のとおりです。

# 一町民スキー大会 北奥羽学童 ジャンプ大会

## 第46回金木町民スキー大会兼第4回北奥羽学童ジャンプ大会成績

### 第46回金木町民スキー大会

#### 【アルペン競技】

- ▶男子低学年
  - 1位 今家 駿佑（喜良市小）
  - 2位 古家 絵杜（喜良市小）
  - 3位 鳴海 遼（喜良市小）
- ▶女子低学年
  - 1位 今松 奈緒（喜良市小）
  - 2位 松川 布美江（嘉瀬小）
  - 3位 高橋 博子（嘉瀬小）
- ▶男子4年
  - 1位 西村 彰記（喜良市小）
  - 2位 古川 大將（喜良市小）
  - 3位 西村 公佑（喜良市小）
- ▶女子4年
  - 1位 木下 結衣（嘉瀬小）
  - 2位 今 麗嘉（喜良市小）
  - 3位 須崎 優香（嘉瀬小）
- ▶男子5年
  - 1位 土岐 裕真（嘉瀬小）
  - 2位 平川 怜（嘉瀬小）
  - 3位 藤本 尚之（喜良市小）
- ▶女子5年
  - 1位 田中 愛菜（喜良市小）
  - 2位 前田 美貴（喜良市小）
  - 3位 鳴海 杏奈（嘉瀬小）
- ▶男子6年
  - 1位 小山 啓人（嘉瀬小）
  - 2位 原田 祥矢（嘉瀬小）

- 3位 秋元 翼（金木小）
- ▶女子6年
  - 1位 岡知 美（喜良市小）
  - 2位 津島 千秋（喜良市小）
  - 3位 岡田 瑞希（喜良市小）

#### 【クロスカントリー競技】

- ▶男子低学年
  - 1位 泉谷 亮太（川倉小）
  - 2位 今 勇太（喜良市小）
  - 3位 浅利 智也（川倉小）
- ▶女子低学年
  - 1位 夢月 佳子（川倉小）
  - 2位 中山 佳子（嘉瀬小）
  - 3位 木村 樹羅（喜良市小）
- ▶男子4年
  - 1位 神島 実孟（嘉瀬小）
  - 2位 山中 裕雅（川倉小）
  - 3位 斉藤 佑介（喜良市小）
- ▶女子4年
  - 1位 海 朗（喜良市小）
  - 2位 須崎 菜那（嘉瀬小）
  - 3位 秋元 祐美（川倉小）
- ▶男子5年
  - 1位 一樹（嘉瀬小）
  - 2位 今 琢磨（喜良市小）
  - 3位 浅利 啓太（川倉小）
- ▶女子5年
  - 1位 海 千穂（川倉小）
  - 2位 中 観月（川倉小）

- 3位 田中 千智（嘉瀬小）
- ▶男子6年
  - 1位 澤田 拳（嘉瀬小）
  - 2位 木下 誉也（嘉瀬小）
  - 3位 工藤 祝（嘉瀬小）
- ▶女子6年
  - 1位 古川 亜沙美（喜良市小）
  - 2位 山田 千明（金木小）
  - 3位 梶浦 枝里奈（川倉小）

- ▶中学校男子
  - 1位 野宮 優作（金木南中）
  - 2位 黒川 友喜（金木南中）
  - 3位 平川 卓弥（金木南中）

#### 【ジャンプ競技】

- ▶男子低学年
  - 1位 古家 絵杜（喜良市小）
  - 2位 小倉 千侑（嘉瀬小）
  - 3位 木下 雄登（嘉瀬小）
- ▶女子低学年
  - 1位 小野 さやか（喜良市小）
- ▶男子4年
  - 1位 神島 実孟（嘉瀬小）
  - 2位 西村 彰記（喜良市小）
- ▶男子5年
  - 1位 今 一樹（嘉瀬小）
  - 2位 平川 怜（嘉瀬小）
  - 3位 桜庭 翔平（喜良市小）
- ▶男子6年
  - 1位 木下 誉也（嘉瀬小）

#### 【リレー競技】

- ▶男子
  - 1位 嘉瀬小学校
  - 2位 喜良市小学校
- ▶女子
  - 1位 喜良市小学校
  - 2位 川倉小学校
  - 3位 嘉瀬小学校

#### 第4回北奥羽学童ジャンプ大会

- 1位 = 秋田県 馬淵 源（大湯小）
- 2位 = 秋田県 畠山 星羅（大葛小）
- 3位 = 秋田県 馬淵 点（大湯小）
- 4位 = 岩手県 佐藤 元気（田山小）
- 5位 = 青森県 神島 実孟（嘉瀬小）
- 6位 = 秋田県 高山 大史（生保内小）





平成16年度 金木町スポーツ賞受賞者一覧

- 白川 康 靖 (金木小学校6年) 相撲 第7回県小学生相撲大会(個人戦6年の部) 優勝など
- 前田 尋 斗 (金木中学校1年) 相撲 第25回東北中学校相撲大会 団体優勝など
- 成田 勝 哉 (金木中学校1年) 相撲 第25回東北中学校相撲大会 団体優勝など
- 野上 怜 (金木中学校2年) 相撲 第25回東北中学校相撲大会 団体優勝など
- 津島 祐 希 (金木中学校3年) 相撲 第25回東北中学校相撲大会 団体優勝など
- 中村 陽 仁 (金木町相撲協会) 相撲 第59回国民体育大会相撲競技(成年男子B) 団体優勝
- 増田 匡 紀 (中里中学校講師) 相撲 第59回国民体育大会相撲競技(成年男子B) 団体優勝
- 川 嶋 沙耶佳 (金木小学校4年) 柔 道 第19回青森県少年学年別柔道選手権大会兼全国大会出場予選会(個人女子4年の部) 優勝など
- 田 中 千 智 (嘉瀬小学校5年) 柔 道 第19回青森県少年学年別柔道選手権大会兼全国大会出場予選会(個人女子5年の部) 優勝など
- 逢 坂 和 志 (五所川原第一高校2年) 剣 道 平成16年度国民体育大会東北ブロック大会兼第31回東北総合体育大会剣道競技(少年男子の部) 第2位
- 石戸谷 千 尋 (五所川原第一高校1年) 少林寺拳法 第57回青森県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技(規定団体演武の部) 優勝
- 工 藤 琴 栄 (五所川原第一高校1年) 少林寺拳法 第57回青森県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技(規定団体演武の部) 優勝
- 荒 関 有 麻 (五所川原第一高校2年) 少林寺拳法 平成16年度青森県高等学校少林寺拳法新人大会(女子団体演武の部) 優勝
- 大佐賀 翼 (金木中学校3年) 陸 上 第25回東北中学校体育大会陸上競技大会(男子走り高跳び) 第5位 1m83
- 小山内亜梨沙 (金木南中学校3年) 陸 上 第25回東北中学校体育大会陸上競技大会(3年女子100m) 第6位 12"77
- 中 西 龍 太郎 (青森山田高等学校2年) ゴルフ 青森県ゴルフ選手権大会国体予選会(高校男子の部) 優勝
- 黒 川 友 喜 (金木南中学校2年) スキー 第55回青森県中学校体育大会冬季スキー競技大会 男子総合優勝など
- 野 宮 優 作 (金木南中学校2年) スキー 第55回青森県中学校体育大会冬季スキー競技大会 男子総合優勝
- 平 川 卓 弥 (金木南中学校1年) スキー 第55回青森県中学校体育大会冬季スキー競技大会 男子総合優勝
- 飯 塚 緑 (東奥義塾高等学校3年) スキー 平成17年青森県スキー選手権大会(女子GS・SL) 優勝 3冠達成など
- 伊 藤 徳 治 (金木町ソフトボール協会) ソフトボール 長年にわたり金木町ソフトボール競技の普及に貢献。平成6年からは管内小学生的の指導者として学校体育振興発展にも貢献。現在も小学生的の指導に励んでいる。



金木町スポーツ賞5回以上受賞者一覧表

- 白川 康 靖 (金木小学校6年) 相撲 12・13・14・15・16年度受賞

平成16年度 金木町文化賞受賞者一覧

- 木 村 玲 伽 (金木小学校4年) 平成16年度 東奥書道誌上展特選(青森県書道連盟主催) 特選者による席書大会 最高賞 温知会賞 受賞
- 伴 真 愛 子 (嘉瀬小学校3年) 第19回防災ポスターコンクール 入選(内閣府・防災週間推進協議会主催)
- 喜良市小学校 第43回青森県健康教育発表大会 アトラクションなど
- 田 中 大 樹 (金木中学校1年) 第54回社会を明るくする運動・作文コンテスト・中央実施委員会委員長賞(優秀賞)
- 三 味 線 部 (金木高等学校) 第28回全国高等学校総合文化祭(徳島県で開催) 県代表として出場し、文化連盟賞受賞など
- 中 村 友 紀 (本造高専力分校3学年) 第19回全国高等学校文芸コンクール俳句部門入選(社団法人全国高等学校文化連盟主催)など
- 山 中 イ ツ 子 (嘉瀬奴踊保存会) 嘉瀬奴踊の保存、伝承を図るため、嘉瀬小学校・金木南中学校生を育成している。保存会で33年間活動。
- 花 田 榎 五 郎 (金木短歌会) 青森県歌人懇話会創立50周年記念式典において振興、発展寄与による功労賞
- 櫛 引 八 千 代 (金木川柳の会) 川柳の普及、発展に努め、深浦町教育委員会の委嘱を受け公民館の川柳講座で指導にあたるなど川柳を通しての文芸活動に尽力。

平成16年度

スポーツ賞 文化賞 受賞

- スポーツ賞 21名
- 文化賞 7名・2団体

平成十六年度の金木町スポーツ賞と文化賞の授与式が三月八日、町中央公民館で行われ、町のスポーツ・文化の振興発展に尽力された二十八名

と二団体(学校)に賞状やメダルが贈られました。式では、山中弘行町教育委員長が「受賞を契機にこれからも頑張ってください。」とあいさつし、鳴海町長が「愛と感動を与え続けてください。」と祝辞を述べました。また、田中大樹くん(金木中一年)と白川康靖くん(金木小六年)が「作文に書いたように、周りの人への思いやりを忘れず、これからも頑張ります。」「来年は、新五所川原市でスポーツ賞をいただけるよう努力します。」とそれぞれ受賞者の代表謝辞がありました。

《受賞者代表謝辞》  
白川康靖くん 田中大樹くん  
《授 与 式》



文化賞

平成16年度 金木町文化賞・スポーツ賞授与式



スポーツ賞

平成16年度 金木町文化賞・スポーツ賞授与式



# 議 談 二 一 一

## 加藤 啓議員

### ◎金木病院の経営改善及び機能強化対策について

「金木・中里町からの繰り出し額の大幅な増加投入を見込めない現状から、高齢化の進む住民のニーズにあった質の高い医療と地域福祉の拠点的作用を果たすために、町長はどのような改善策をお持ちですか。具体的にお聞かせください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「病院の経営改善及び機能の強化策については、杉山院長はじめ、両町の議員が日夜努力している。近年は、保険税の負担増で患者が減少している。個人病院と違い、自治体病院は収益のない科も取り入れなければいけない。私は、収益よりも福祉の二環として病院が保たなければいけないと思っています。また、十一月二日から、療養型を二階に設置し、少しでも収益を上げようとしています。」

##### ◎金木病院長と事務長について

「院長と事務長を交代し、体制を一新する考えはないか。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「失態とかいろいろな悪いところがあるのであれば、交代もやぶさかではないと思いますが、何もないものを代えるのは、軽はずみな答弁は差し控えたいと思います。」

##### ◎頭部に対するCT写真について

「検査結果判明までの時間が従来平均七〜十日間かかっているわけでありますが、現在は、これくらい短縮されたのをお知らせください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 健康福祉課長

「患者によって違います。また医療行為につきまですので、回答はできないということです。」

##### ◎旧金木川の整備（洪水、景観、衛生）の対応策について

「金木川改修工事を促進するため、当面のスケジュールを伺いたい。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「県の財政事情を考慮してみしても、一日も早く一致点をみいだして、早い時期に着工をお願いしたいと思っています。」

##### ◎土のうの更新について

「昨年の洪水のときに使用した土のうが老朽化しています。来春の融雪増水に対応するために補強が必要と思いますが、いかがでしょうか。」

#### 【答弁】

##### ◆ 建設課長

「土のうを見て、本当にすぐ破れるものであったら更新をお願いしたいと思っています。」

##### ◎金木川流域内について

「流域内の灌木の伐採、清掃を急げなくとも思いますが、いかがでしょうか。」

#### 【答弁】

##### ◆ 建設課長

「県では、河床工事として、被害があった川端町から順次進めています。今年、こめ米ロードに架かる橋の上流まで、順次下流の方へ進めていきます。ということですね。」

##### ◎金木町の林道台帳がないが、その理由と対策について

「金木町には、林道に関する台帳が整備されておりません。その理由と今後の台帳整備の道筋を聞かせてください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「林道は、この町にとって大事です。非常に財政が厳しく、今でも予算編成に盛るのは苦慮しております。新市において早期に作成することで粘り強く頑張っていく所存であります。」

##### ◎森林資源の保全について、合併に向けた

て金木町はどのような構想をお持ちなのかお聞かせ願いたい。」

#### 【答弁】

##### ◆ 農林課長

「十四年度に金木町で作成しております森林整備計画があり、その中に山地の災害防止対策、水源涵養機能の増進ということも含まれております。森林と人との共生ということですが、自然環境を保持しながら、自然条件を生かした対策を講ずることになっております。」

##### ◎社会福祉協議会の剰余金について

「社会福祉協議会の剰余金で老人福祉センターの浴槽及び脱衣所を拡張あるいは新築する考えはないか。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「社会福祉協議会の収益は、同協議会が事業として行う社会福祉事業以外に使用できないという指導もござります。使用できるものは、このお金で少しでも町民の不満を解消したいと思っております。」

##### ◎旧嘉瀬山処分場から有害物質排出に係る対応策について

「嘉瀬山処分場を廃止できない現状の原因をどう考えているのか。」

#### 【答弁】

##### ◆ 健康福祉課長

「喜良市の一般廃棄物最終処分場、これと同等の施設として改善しなければ廃止できないというふうな形になっております。その廃止にむけた事業をこれから計画を作って予算化してやっていかなければならないと思っております。」

##### ◎県からこの問題に対して、どのような指導がなされたか調査を多くするなど強化すべきでなかったか。

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「今までのごみはいかにして子や孫に影響ないように、それを明け渡さなければいけない。現地調査を兼ねた基本計画の策定しながら基準値を上回るものは、整備等を実施する必要があるかと思っております。」

#### 【答弁】

##### ◆ 健康福祉課長

「県の方で、年一回の調査でもいいのではないかとような形であったものですから、これまでずっと年一回の調査できたわけです。十五年度のときにすへての数値が基準を下回って現在は落ち着いているわけです。」

##### ◎指定管理者制度について

「来春四月から、指定管理者制度が発令するわけですが、金木の直営方式をどう堅持していくのか。」

#### 【答弁】

##### ◆ 総務課長

「民間の事業者に委託するということになろうかと思っております。将来ということになれば、指定管理者制度も適用されるのではないかと判断しております。」

##### ◎図書館について

「図書館開館以来の利用状況と当面の整備目標についてお知らせください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 教育次長

「開館した十月が三百一名、十一月が五百三十一名の方が利用され、貸し出す数は、千三百六十四冊となっております。今後の整備は、四千冊を目途に整備したいと考えております。」

##### ◎図書館臨時職員選定について

「応募状況と選定方法についてお聞かせください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「図書館臨時職員の選定にあたっては書類審査でアルバイトの人を決めました。」

#### 【答弁】

##### ◆ 教育次長

「選定基準は、九月の町広報誌お知らせ版に募集人員二名、年齢十八歳〜三十歳までという内容で掲載し、男性四名、女性七名計十一名の応募がありました。」

##### ◎斜陽館の庭木囲い業者について

「国重要文化財になった斜陽館の庭木囲いの業者選定基準をお知らせください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「庭木のせん定と違い、雪囲いですので、できるだけ信用のある業者を選定いたしました。」

##### ◎歴史民俗資料館の活用策について

「今後の活用策、具体的な構想をお聞かせ願いたい。」

#### 【答弁】

##### ◆ 教育長

「週末の休みの体験活動、資料館和室を学習室に活用できるように開放。考古森林、民俗関連の講習会など、広く町民の方々に活用していただけるように検討したい。」

## 川口 隆議員

##### ◎合併に向けた農業問題について

「今年は昨年比べて、米の価格が二千円以上大幅に下がり、収穫も豊作と騒がれたわりには、収穫は上がらず、品質もよくなりませんでした。一方、農薬肥料等は一切下がり、農家はピンチに立たされています。町の対策をお伺いいたします。」

#### 【答弁】

##### ◆ 鳴海町長

「町では、議員各位のご理解によりまして約千二百〜三百円の商品券の配布などをしてきたわけですが、新しい市においても、できるなら基幹産業農家の皆さんが少しでも明るい兆しが見えるような、私は川口議員の敏腕を期待しております。」

##### ◎野菜等の振興対策について

「津軽北部農協では、トマトが産地指定されておりまして、ナガイモ、ジャガイモ、キヌサヤ、ネギ、ニンニク等に力を入れておりますが、五所川原市では、野菜振興に余力を入れていないように聞いておりますが、町では、どのような振興対策があるのかお聞かせください。」

#### 【答弁】

##### ◆ 農林課長

「野菜の軽量鉄骨ハウスそれから集荷